

大河原町はこれからも
「一目千本桜」を
町の象徴として
情報発信していくよ!



大河原町
観光PRキャラクター

さくらっきー♡



どんなまちづくりを
するのかな!

大河原町 2019年(平成31年)3月

ひと、まち、桜が咲きほこる 先進のまち

～おおらかに、たくましく未来へ続くおおがわら～

第6次 大河原町長期総合計画

【ダイジェスト版】



このイラストは、大河原町出身の
ペイントアーティストさとうたけしさんが
未来の大河原町を描いたものです。

大河原町では、
2019年度～2029年度にわたるまちづくりの計画
「第6次大河原町長期総合計画」をつくったんだ。



はじめに(計画策定にあたって)



「繋がり合うことの大切さ」
「大規模災害への対応」
「生命と安全を守ること」

東日本大震災

少子高齢化

人口減少

「消滅可能性都市」



これからどうまちづくりをすすめるか!?
そして平成から次の時代へ向けたまちづくりの指針となる計画をつくりたい

それは
どういう
計画なの?

長期総合計画はまちの将来像やまちづくりの方向性を示すとともに、これを実現するためのさまざまな政策、施策などを定める計画で、町の最上位計画です。
そのため、長期総合計画の策定や変更は町議会の議決を得ることになっています。

計画のなりたち

計画は三層構造でできています。
基本構想はまちづくりの基本的な考え方や目指すべき町の姿を示し、実現に向けた基本方針を示したものです。
基本計画は基本構想にもとづき、政策分野別に政策目標や目指すべき方向性、その展開を示したものです。
実施計画は、基本計画をもとに事業の詳細や予算を示したものです。



なるほど!
それが第6次大河原町
長期総合計画なんだね。

それでは、計画の中身を紹介します。まず最初に時代の流れを整理しているよ。

時代の潮流

01 人口減少社会・少子高齢化

日本では、世界でも類を見ない少子高齢社会を迎えています。人口減少によって存続が困難になる市町村が見込まれます。



04 地方分権と地方創生

地方分権改革以来、国と地方の「対等協力」関係や自治体の「自己決定・自己責任」が原則となっています。国と地方が一体となって地方創生の取り組みを推進し、そのまちに合わせた自治振興と人口減少に対する取り組みが必要です。



02 生命(いのち)の尊重と安全・安心傾向

大規模災害や身近な危険が増加、多様化しています。住民の生命を守り、安全を保障するための政策展開が強く求められています。



05 ソーシャル・インクルージョン(社会的包摂・包容)の推進

ソーシャル・インクルージョンとは、社会的に孤立している人々に対し、一人ひとりの存在を認めあい、つながりを持ち、包摂(包容)できる社会を実現しようとする理念です。これまで以上に、「認めあい、支えあい、活かしあう」社会の実現が強く望まれています。



03 様々な環境への配慮

地球規模で深刻な環境問題が起こっています。グローバルな取り組みはもとより、地域や私たちの生活においても、様々な環境保全への配慮が必要となっています。



06 高度情報化社会

スマートフォンやソーシャルメディアなどの急速な普及により、生活利便性の向上や新しいコミュニケーションの形が定着しつつあります。また、近年のAIなどの先端技術の進展により、近い将来社会環境の革命的な変化が見込まれています。



次に、大河原町の課題を拾い出し、対応方針を考えました。
まずは、まちづくり全般に関係する4つの方針です。

大河原町の現状と課題 まちづくりの大切な視点 政策分野共通

I. 人口減少の抑制と超高齢社会への対応

対応方針 人口の維持を目指して、転入者の増加、転出者の抑制を図るため、移住定住の支援、教育環境の充実等、総合的なまちづくり施策を展開します。全ての住民が安心して生涯暮らしやすく、町外在住者からも選ばれるまちを目指します。

II. 町のブランド化とシティプロモーション

対応方針 一目千本桜の観光資源や医療機関、教育環境等も含んだ町全体の質と魅力を向上させ、「まちのブランド化」を総合的に強化し、合わせて、町の「売り込み」と「知名度の向上」を目指したシティプロモーションを展開します。

III. 町の象徴・一目千本桜の保護と活用

対応方針 一目千本桜を町の象徴としてさまざまなまちづくりの場面で活用します。住民や企業などと桜の保全・保護活用を展開し、確実に次世代に引き継いでいきます。

IV. まちの強みと資源を活かす広域連携と官民連携

対応方針 町の中心性・拠点性を活かすとともにリーダーシップを発揮して周辺市町との広域連携を先導します。地元事業者や企業との協力体制を構築し、総合的なまちづくりを展開します。

大河原町の現状と課題 まちづくりの大切な視点 政策分野別

生活環境・住民自治

1. 防災・減災の充実と生活の安全確保

対応方針 安全・安心にかかる施策や地域の見守り体制強化に関する取り組みを優先的に実施します。防災・減災インフラのさらなる整備、維持管理により、安全・安心なまちのブランド確立を図ります。

2. 地域コミュニティの維持・再生と新たな自治のしくみづくり

対応方針 地縁や行政区の人のつながりを基本としながら、多様なつながりづくりを推進し、さまざまな自治を支えるひとづくりとしくみづくりを進めます。

健康福祉

3. 地域医療体制の充実と健康づくりの普及

対応方針 医療体制が充実している強みを維持・強化し、生涯安心して暮らすことができる環境づくりを推進します。生命を守る安心なまちのブランド確立を図ります。

4. 住み慣れた地域で暮らせる総合的福祉の展開

対応方針 高齢者や障がい者への医療・介護・予防等の一体的支援を提供する地域包括ケア体制を推進するとともに、地域に根差した福祉活動の活性化を図ります。

5. 安心して産み育てられる子育て環境づくり

対応方針 子どもを産み育てやすい環境整備や支援体制を充実し、子育てに最適なまちのブランドを確立します。民間保育所などの支援や町立保育所の建て替えを進め、様々な保育需要に対応できる体制を維持します。地域による児童の健全育成の環境づくりを推進します。



政策分野別には9つの課題に整理しました

都市づくり・町づくり

6. 将来を見据えた都市機能と公共施設の維持・整備

対応方針 コンパクトで効率的な都市形成を維持し、施設の計画的な老朽化対策や長寿命化対策を実施します。自然災害や安全・安心に配慮した、利便性あふれる都市整備を図ります。

産業・観光振興

7. 地域産業の活性化と働く場づくり、起業・創業支援

対応方針 農業は、規模の拡大や担い手育成による安定的な農業経営を支援し、里山や耕作放棄地の保全と農作物被害対策を強化します。商業は、大河原商圏の維持拡大と市街地商店街のにぎわい創出を図ります。工業は、新しい工場用地の確保や進出企業に対する支援の充実を検討します。観光は、四季を通じた一目千本桜の魅力づくりなど通年観光やインバウンド観光の振興を図ります。また、本町の優位性に配慮し、起業・創業支援を展開します。

学校教育・生涯学習

8. 次世代につなぐ学校教育と多様な学びと生きがいづくり

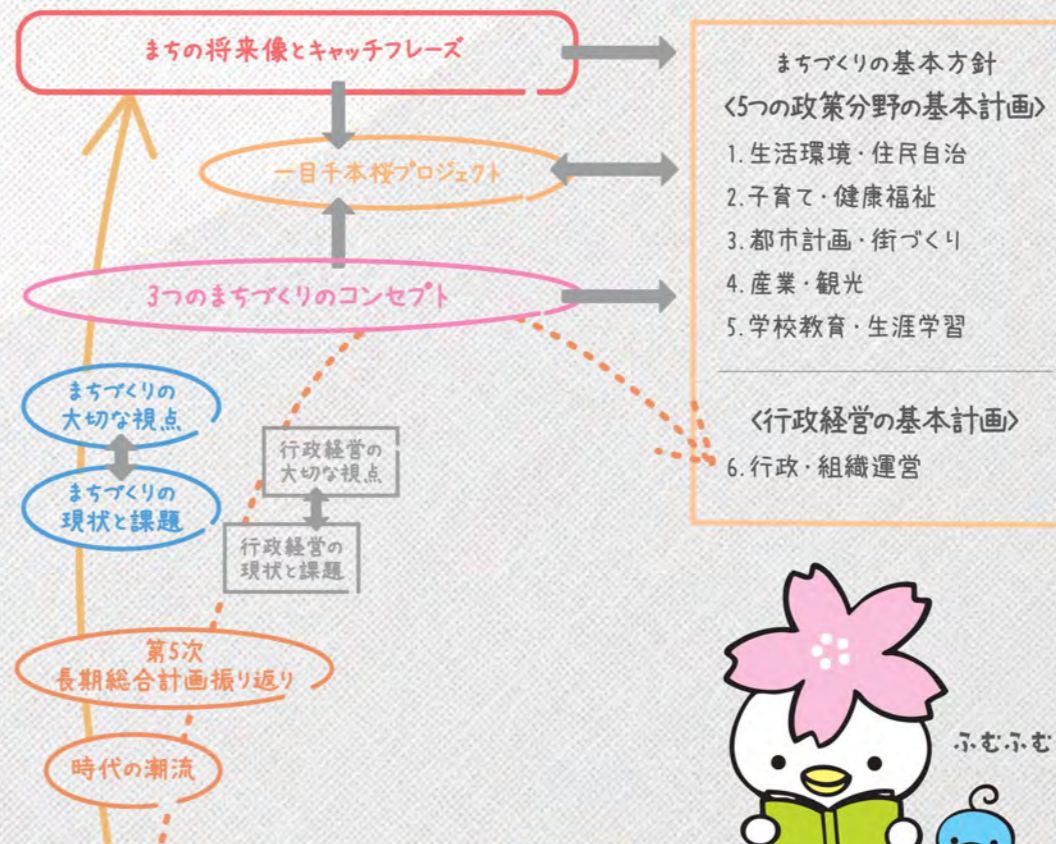
対応方針 小学生の学力の現状維持・向上、中学生の学力向上を図ります。計画的な学校等の改修や修繕、建て替えを行います。交流とにぎわい創出に取り組みながら、多様な学習の場、人づくりの場を創出します。町の文化や学びにより自分らしい生き方ができるまちのブランド確立を図ります。

行政経営：役場組織・行政運営

9. 経営感覚あふれる行財政改革の推進

対応方針 住民の真のニーズに基づく、良質なサービスの提供と親身で丁寧な窓口対応を行います。スクラップ&ビルドの徹底により、堅実かつ柔軟な財政運営を図ります。専門職等の人材確保や、自ら適切に課題解決に取り組むことができる職員の育成と確保を目指します。時代の変化に柔軟に対応できる、効率的な組織づくりに取り組みます。

〈基本構想の展開イメージ〉



まちづくりのコンセプト

まちの課題を整理したら
まちづくりに大切な3本の柱が
見えてきたね。



1

住民自治・住民主権

「認めあい・支えあい・活かしあう」
の継承

住民が主役のまちづくり まちを担うひとづくり

住民自治・住民主権のまちづくりを大原則とし、まちを担うひとづくりを大切にします。そのため、前長期総合計画で掲げた、「認めあい」「支えあい」「活かしあう」を継承し、全員参加のまちづくりを目指します。情報共有と協働による、住民が主役のまちづくりを土台として、住民自治を振興し、まちの未来を創造できるひとづくり、しくみづくりを全ての政策分野で推進します。

2

生命(いのち)と 安全を守る

生命(いのち)と 安全・安心が
まちづくり の基本

安全・安心が 実感できる まちづくり

町民の生命と安全を守ることが、まち命であることを再確認します。自然災害の命と安全を守ること、健康な生活かきと対応できることを目指します。ある町の特長と役割を踏まえながら、誰もが安全・安心を実感できる政策を重点的に展開します。



3

町を未来へとつなぐ

大河原町らしい
「人口減少への挑戦」

ブランド化による 選ばれるまちづくり

大河原町らしさを活かした、人口減少の抑制に取り組みます。将来の目標人口を掲げながら、主に転出者の減少・転入者の増加を目指します。中心性、先進性、利便性などの町の個性と強みを活かしてブランド化を推進し、住民からも町外在住者からも選ばれるまちをつくり、未来へとつないでいきます。

2026年
人口23,000人
KEEP!

まちの将来像

まちの将来像・キャッチフレーズ

ひと・まち・桜が 咲きほこる 先進のまち

～おおらかに、たくましく未来へ続く おおがわら～

10年後、そしてもっと先の未来にも、生命(いのち)と安全な暮らしが大切に守られ、住民が主役の元気な「おおがわらまち」がある。この姿を思えば、100年もの間生命を紡ぎ、毎年花を咲かせ、まちの象徴として愛され続ける「一目千本桜」の姿と重なり合います。

確実に到来する人口減少社会のなかで、人々がいきいきと活躍できるまちであるためには、過去から受け継いだ町の財産と、現在持っている町の能力を十分に活かしきること。そして、これからは、一歩先行く先進のまちづくりを継続し、まちのブランドを確立し誰からも選ばれるようなまちづくりを進めることが大事です。

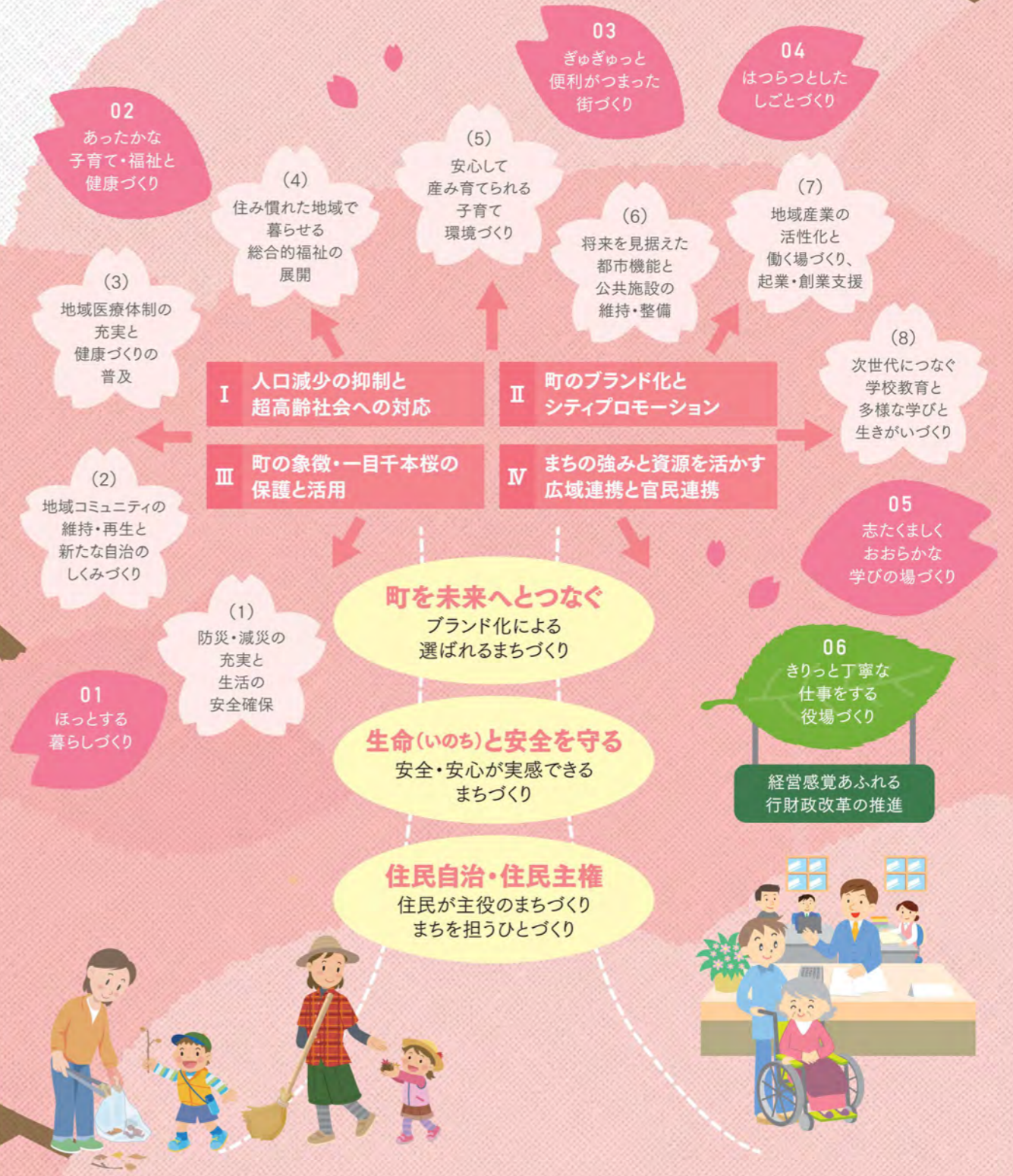
これからも、まちの活力、誇り、魅力がずっと「咲きほこる」ように、町の将来像を「ひと・まち・桜が咲きほこる先進のまち」としました。

加えて、将来の人々の暮らしや人と人のつきあい方、まちの雰囲気や景観が目指すべき姿として、「寛容と知性」そして「豊かな広がり」をイメージさせる、「おおらか」と、「生命力」や「元気と持続力」そして「しなやかさ」もイメージさせる「たくましい」を結びつけ、みんなで「おおがわら」の魅力を広く発信し、ひと・まち・桜を未来へつないでいくことを目指して、町のキャッチフレーズを「おおらかに、たくましく未来へ続く おおがわら」としました。

「おおらか」と「たくましい」は町民憲章にあることばだよ。



■まちづくりの展開イメージ



一目千本桜プロジェクト

「一目千本桜」の生命(いのち)を住民みんなで守る。
みんなの心のよりどころとして、未来へつなぐ。

町の象徴として、情報発信し広げて行く。

「一目千本桜」を町のイメージの代表として、
まちづくりのさまざまな場面で活用しながら、プロジェクトを推進します。



03 まち全体の ブランド化 プロジェクト

まちのさまざまな資源を磨き、信頼・誇り・情報発信の向上に結び付け、総合的なまちのブランド化により、誰からも「選ばれるまち」を目指します。

【主な取り組み】

- 一目千本桜を活用した、シティプロモーション
- 地場産品などの「食」を中心とした高付加価値化
- 結婚促進、子育て支援、移住定住支援等の実施
- 白石川右岸河川敷整備等、交流拠点施設の整備



02 安全・安心の まちづくり プロジェクト

災害時はもとより、日々の基本的な安全確保と生命(いのち)を守る取り組みが、暮らしの安心の実感とまちの魅力に結びつくことを目指します。

【主な取り組み】

- 交通安全対策と地域の見守りによる防犯対策の強化
- みやぎ県南中核病院を中心とした地域医療体制の充実
- 水道の安定供給と、雨水排水路の整備等、浸水、冠水対策の推進



01 おおらかでたくましい ひとづくり プロジェクト

先人のおおらかな先進の志に学びながら、たくましくまちを未来へつなげるために、さまざまなまちの主役(ひと)づくりを目指します

【主な取り組み】

- 桜保育所、学校給食センター、体育館の建て替え等、子育て・教育施設の充実
- 起業・創業支援とまちづくり人材の発掘と活用
- 「志教育」の推進、県内上位の学力維持・向上



いろいろな施策を結び合わせて
まちづくりを進めるんだね。

大河原町はこんなまちを目指します -基本計画-

01 みんながまちの主役、 ほっとして安全な暮らしができるまち

[主な政策展開]

- ①住民主体の地域活動が活発なまち
- ②美しい環境で誰もが快適に暮らせるまち
- ③子どもからお年寄りまで安全安心に暮らせるまち
- ④住民と行政が力を合わせてつくる、災害に強いまち
- ⑤情報を共有し住民が主役の開かれたまち
- ⑥広域な視点で時代を展望できるまち



02 地域ですくすくと育ち、 あったかな生き方がかなうまち

[主な政策展開]

- ①地域ぐるみで健康づくりに取り組み、いつまでも元気に暮らせるまち
- ②充実した地域医療体制により、安心して暮らせるまち
- ③子育てで家庭を支え、子どもの未来をつくるまち
- ④すくすくと育つ、きめ細やかな保育のまち(桜保育所)
- ⑤児童の健全育成と地域の子育て支援が充実したまち(児童センター、上谷児童館、世代交流いきいきプラザ)
- ⑥高齢者が生きがいを持ち、地域であたたかに暮らせるまち
- ⑦障がい者と健常者が、相互に尊重し、支えあうまち
- ⑧誰もが安心して暮らせる、地域福祉が活発なまち
- ⑨国民健康保険 ⑩後期高齢者医療制度 ⑪国民年金



03 中心・安心・先進で、 ぎゅぎゅっと便利がつまったまち

[主な政策展開]

- ①暮らしと未来に調和した都市計画を進めるまち
- ②公園や広場にみんなが集まり、交流が生まれるまち
- ③安全で便利な道路・橋梁を備えるまち
- ④都市施設と美しいまちなみが共存するまち
- ⑤どんな時でも安全でおいしい水が飲めるまち
- ⑥衛生的で安全に暮らせる下水道・雨水排水のあるまち
- ⑦公営住宅管理と独自の住宅政策に取り組むまち



長期総合計画の基本計画では、6つの政策分野にわけて、
政策の目的や推進方針を示しています。



04 ブランド化とプロモーションで、 誰もがはつらつと働けるまち

[主な政策展開]

- ①故郷と食をつなげる活力ある農業のあるまち
- ②にぎわいを生み出す商工業の振興と起業・創業支援のまち
- ③地域資源を活かし、ブランドが開くまち
- ④労政
- ⑤地方卸売市場(特別会計)



05 志(こころざし)たくましく、 おおらかに学び続けられるまち

[主な政策展開]

- ①「笑顔」「元気」「学び」を育む教育環境をつくるまち
- ②児童・生徒の「笑顔」「元気」「学び」を育む学校があるまち【小中学校】
- ③安全・安心で栄養バランスのとれたおいしい学校給食があるまち
- ④共に生きる力を育む生涯学習環境をつくるまち【生涯学習・中央公民館】
- ⑤地域の人たちが主体的に学びつどろ環境があるまち【金ヶ瀬公民館】
- ⑥住民が学び続ける図書館があるまち
- ⑦身近な芸術と歴史に親しみ、新たな文化を創造するまち
- ⑧ライフステージに応じたスポーツを生涯楽しめるまち



06 まちを未来へとつなぐ、 きりっと丁寧な仕事をする役場があるまち

[主な政策展開]

- ①来庁者に優しく、便利なサービス窓口があるまち
- ②健全で将来を見据えた経営感覚にあふれるまち
- ③時代の変化に対応できる役場組織を目指すまち
- ④時代の変化に対応できる改革を進めるまち
- ⑤選挙
- ⑥議会・監査委員
- ⑦統計調査



ひと、まち、桜が咲きほこる
先進のまち
Compact town
大河原町

ここが
大河原町の
魅力かな!

- ◎ ほっとして安全な暮らしができるまち
- ◎ あったかな生き方がかなうまち
- ◎ ぎゅぎゅっと便利がつまったまち
- ◎ 誰もがはつらつと働けるまち
- ◎ おおらかに学び続けられるまち



みやぎ県南中核病院



にぎわい交流施設
(中央公民館・にぎわいプラザ)



国道4号の商業集積



大高山神社



世代交流いきいきプラザ

